

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No.1～4が広域連携事業分、No.5が単独事業分

No	交付対象事業の名称	事業の内容	R3事業の実績	本事業における重要業績評価指標(KPI)				R2事業終了時における実績値		R3事業終了時における実績値		内部評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	実績値	事業効果	事業の評価	評価に対する意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	移住定住・人材確保戦略的展開事業															
	交付決定額 (円) 2,113,000	【移住セミナーの開催や各種フェアへの出展】 首都圏等での移住フェアへ参加やセミナーの開催により、移住者の増加を目指す	ふるさと回帰支援センター主催のやまがた暮らしの大相談会、西村山1市4町によるやまがたのハッピーライフカフェ、JOINフェア等にオンライン形式で参加し、移住希望者に向けたPRを実施した。	指標①	本事業実施期間における山形県への新規移住者数の累計(県や市町村等の各種公的相談窓口を利用した者)	4,000	人	令和6年3月	672人 (町実績:8人)		914人 (町実績:0人)					
	実績額 (円) 1,542,500	【暮らし体験やオフィスお試し体験実施】 首都圏からの移住者の増加に向けた暮らし体験ツアーの開催に係る委託料を支出する	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から暮らし体験ツアーは開催できなかった。	指標②	移住相談窓口(県及び市町村)への年間相談件数	2,550	件	令和6年3月	2,608件 (町実績:93件)	地方創生に効果があった	2,961件 (町実績:8件)	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・移住フェアや移住相談会へ参加し町をPRすることで、移住希望者が移住先を考える選択肢の一つにつながった。 ・ゲストハウス松本亭一農舎については、新型コロナウイルスの影響により町外からの宿泊客は少なかつたもの、適応指導教室(不登校児の教室外授業)の指定を受けるなど、地域内のコミュニティの場として活用されていることは評価できる。 ・空き家バンクに登録している物件について、町外者の成約があり移住につながっている。 以上により、関係人口の増加や移住定住の促進への効果があった。	事業の継続	移住者の増加を図ることが、まちづくりの活力につながるものと考え、新型コロナウイルスの状況を見極めながら、積極的に対面での移住フェア等への参加や移住セミナーや移住体験ツアーの開催を行う。また、空き家バンク等、町に関わりを持つ人(関係人口)を受け入れる環境づくりを引き続き実施し、関係人口を増やして、移住定住者の増加、まちづくりの活力につなげていく。
	【空き家等バンクへの登録促進】 空き家等バンクの運営とともに、空き家等バンクへの物件登録を促すため、移住体験ツアーの開催や、協力いただいた自治会へ謝金を行う	・H31.4.1より空き家等バンクの運営を委託している。 ・空き家等バンクへ登録に協力いただいた自治会への謝金 R2年度実績なし	指標③	県移住定住ポータルサイトトップページの年間アクセス件数	50,000	件	令和6年3月	228,983件			246,204件					
2	戦略的農産物を核とした成長サイクルによる四季を通じて稼げるまちづくり推進プロジェクト															
	交付決定額 (円) 7,300,000	【新規就農者等雇用拡大事業】 農業研修生に対する賃料補助や、農業研修生を受け入れた農家等に対して補助を実施することで、新規就農者の増加を促す	農業研修生受入農家5件に対し補助を行ったが、計画額には達しなかった	指標①	戦略的農産物の国内直接販売開始事業者数 ※増加分の累計	15	事業者	令和5年3月	4者 (町実績:0者)		5者 (町実績:0者)					
	実績額 (円) 3,225,733	【戦略的農産物輸出推進事業】 町の特産品であるりんごの輸出量の拡大及び新規輸出先等の開拓を行うために、トップセールスに係る旅費やプロモーションに対して補助する	コロナ禍により生産者等の現地派遣による販売促進活動ができなかったものの、現地中心でのプロモーションを実施し、昨年並みの販売量となった	指標②	戦略的農産物の輸出先数 ※増加分の累計	3	か国	令和5年3月	0か国 (町実績:0か国) コロナ禍により新規開拓が困難となった		1か国 (町実績:0か国) コロナ禍により新規開拓が困難となった					
		【電動アシスト剪定鋏普及事業】 電動アシスト剪定鋏の購入に対する補助を行うことで、就農者の負担軽減を行い、新規就農者の増加を促す	町の広報等でPRに努めたが、5件の申請となった。今後、事業促進のため更なるPRに努めたい	指標②	県外からの就農希望者の農業体験参加者数 ※増加分の累計	34	人	令和5年3月	0人 (町実績:0人)	KPIとしては表れなかったものの、地方創生に効果があった	15人 (町実績:3人)	KPIとしては表れなかったものの、地方創生に効果があった				
		【認定農業者農機具等支援事業】 スマート農業機械購入に対する補助を実施し、就農者の負担を軽減し、新規就農者の増加を促す	無人草刈機購入での申請予定であったが、国の経営継続補助事業での申請となったので本事業での実績がなかった。	指標②												
	【戦略的農産物インバウンド観光事業】 インバウンド観光の推進に向けて、PR等を実施する	コロナ禍で外国人観光客の来訪が見込めない中、アフターコロナを見据えた事業を実施。 ・台湾の旅行関係業者や国内在住のインフルエンサーを招致し観光スポットのPRを行った。 ・台湾人の親善ブロガーを選定しブロガーを通して町の情報を発信した。	指標②	外国人観光者数 ※増加分の累計	600	人	令和5年3月	寒河江市で集計中(町実績:0人) コロナ禍により、事業開始前よりも受け入れ数が激減した			寒河江市で集計中 (町実績:0人) コロナ禍により、事業開始前よりも受け入れ数が激減した					

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No.1～4が広域連携事業分、No.5が単独事業分

No	交付対象事業の名称	事業の内容	R3事業の実績	本事業における重要業績評価指標(KPI)				R2事業終了時における実績値		R3事業終了時における実績値		内部評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	実績値	事業効果	事業の評価	評価に対する意見	今後の方針	今後の方針の理由	
3	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光プロジェクト 交付決定額 (円) 393,000 実績額 (円) 392,891	【観光資源マーケティング事業】(内容)観光誘客策としてのイルミネーション設置と併せて、圏域自治体の「食」を楽しめるイベントを開催するとともに、マーケティング調査によって観光ニーズの調査と地元産品のブランド化の進捗を測る。	西村山1市4町で「やまがた音と光のファンタジア」を開催した。寒河江市をメイン会場、他町をサブ会場としイルミネーションを設置した。コロナ禍でスペシャルデーは中止となったが、湯めぐり企画やフォトコンテストなどを実施し誘客を図った。	指標①	冬期間(1月～3月)の観光客数(うち朝日町)	262(60)	千人	令和6年3月	/	/	753.19千人(町実績:122.2千人)	地方創生に効果があった	コロナ禍で計画していた事業は実施できなかったが、広域観光のPRには繋がった	やまがた音と光のファンタジア関連で道の駅でのイルミネーションを実施したことにより、コロナ禍でも交流人口の拡大を見据えたPRができた。	事業の継続	冬季観光については、西村山1市4町で「やまがた音と光のファンタジア」を継続実施。
				指標②	道の駅の観光客数(うち朝日町)	122(30)	千人	令和6年3月			1,205.7千人(町実績:317千人)					
				指標③	圏域外に居住する関係人口の人数	45	人	令和6年3月			700人					
				指標④	宿泊者数(うち朝日町)	28180(9,000)	人	令和6年3月			106,740人(町実績:10,600人)					
4	やまがたの未来を担う元気な農林業人材(ひと)づくりプロジェクト 交付決定額 (円) 818,000 実績額 (円) 0	【意欲ある多様な担い手の確保・育成】(内容)農業振興に向けた研修・研究・情報発信等や、女性農業者のキャリアアップに向けた資格取得等を支援するもの	/	指標①	山形県で農業を始めた若者及び女性の人数(女性と30代以下の男性の実人数)	130	人	令和6年3月	/	/	35人(町実績:3人)	KPIとしては表れなかったものの、地方創生に効果があった	補助金の活用はなかったものの、地域、新規就農者、女性農業者の活躍のために効果的な補助金でありKPI達成に効果的であった。	事業活用までに至らなかったが、担い手の確保・育成に向けて有効な事業であるため継続募集を行いたい。	事業の継続	意欲ある多様な担い手の確保・育成に向けて事業のPRを図り県との連携事業である当事業を推進していきたい。
				指標②	山形県への移住者で、農業を始めた人数	34	人	令和6年3月			5人(町実績:0人)					
				指標③	支援事業を通じた農業者当たり産出額の増加	47	万円	令和6年3月			県で集計中(町実績:0円)					
				指標④	農業就業ポータルサイトのアクセス数	16,200	件	令和6年3月			6,800件					
5	朝日町まち・ひと・しごと創生推進計画(企業版ふるさと納税) 寄附受領額 (円) 0	企業版ふるさと納税制度(地方創生応援税制)を活用するための地域再生計画。企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体のプロジェクトに対し、企業から寄付を頂いた際に、寄付額の9割に対し最大9割の税額控除がなされる制度。朝日町では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業全体をプロジェクトに設定しており、今後寄附の受け入れを開始していく。	/	指標①	若者(15～39歳)の社会増減数(累計)	△45	人	令和7年3月	/	/	△71人	総合戦略のKPI達成に有効であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	令和4年3月31日に計画が認定されたため、企業版ふるさと納税自体の事業実施は出来なかった。	事業の継続	パンフレット、HPの作成や企業へのダイレクトメールにより町の地方創生事業への寄附を募っていく。
				指標②	出生者数(累計)	139	人	令和7年3月			30人					
				指標③	合計特殊出生率	1.75	人	令和7年3月			1.41人					
				指標④	婚姻数(累計)	112	組	令和7年3月			12組					
				指標⑤	要介護認定を受けていない65歳以上の割合	81.0	%	令和7年3月			80.6%					